

2022年度の障害者虐待防止に係る本県の取組

資料3

1 2022年度第2回市町村実務担当者会議の開催状況

(1) 開催日時

2023年2月1日(水) 午前10時00分から午前11時30分まで

(2) 県からの報告事項

① 2022年度上半期の障害者虐待の状況について(速報値)

② 障害者虐待に係る事前質疑について

③ 障害者福祉施設従事者等による障害者虐待の対応について

④ 2022年度第1回愛知県障害者虐待防止・差別解消推進協議会について

⑤ 障害者差別に関する相談状況について

⑥ 愛知県障害者差別解消推進条例の見直しについて

⑦ 障害者差別解消法に基づく対応要領の策定状況等について

(3) 瀬戸市の虐待対応の事例紹介

(4) 障害者福祉施設従事者等による障害者虐待の事例検討

2 愛知県における障害者虐待防止研修の開催状況について

○相談窓口職員向け(市町村・障害者虐待防止センター・基幹相談支援センター等)

日程	研修科目	出席者
12月21日(水)	<ul style="list-style-type: none"> 本県の障害者虐待の動向等について【講義】 障害者虐待対応における相談窓口職員の対応方法(事例を通じて)【講義】 児童虐待対応から考える安全のアセスメント【講義】 障害者福祉施設従事者等による虐待への対応と相談窓口職員の役割【演習】 	70名

⇒アンケート結果 P.2

○障害福祉サービス事業所向け(設置者及び管理者、サービス管理責任者、従事者等)

日程	研修科目	出席者
従業者向け 12月13日(火) 1月20日(金)	<ul style="list-style-type: none"> 本県の障害者虐待の動向等について【講義】 虐待を知る～虐待防止と対応の手引きを読み解く～【講義】 虐待を「わがごと」とし、風通しのよい組織運営を目指して【講義】 事例から自分たちができることを考えよう【講義・演習】 	計152名
体制整備担当者向け 12月6日(火) 1月24日(火)	<ul style="list-style-type: none"> 本県の障害者虐待の動向等について【講義】 意思決定支援を踏まえた成年後見制度の運用【講義】 よりよい虐待防止委員会の運営を目指して【講義・演習】 ○虐待防止体制整備の確認と事例紹介 ○アンガーマネジメント研修体験 ○虐待防止委員会運営課題の共有と検討 	計153名

⇒アンケート結果 P.3～4

○成年後見制度利用推進研修

日程	研修科目	出席者
2月1日(水)	<ul style="list-style-type: none"> 成年後見制度と意思決定支援の基礎理解【講義】 法人後見の必要性和メリット【演習：グループワーク】 	67名

⇒アンケート結果集計中

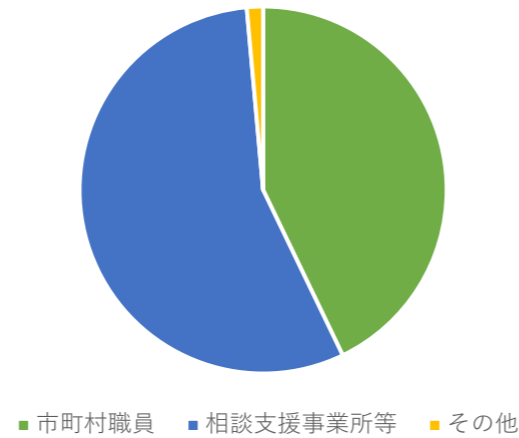
2022年度の障害者虐待防止に係る本県の取組

○相談窓口職員向け アンケート結果

1. 受講者情報

(1) 出席者数・アンケート回収率

(受講決定者:83名)	人数	割合
出席者	70人	84%
アンケート回収	46人	66%



(2) 所属・サービス種別・役職

	人数	割合
市町村職員	30人	43%
相談支援事業所等	39人	56%
その他	1人	1%

2 研修の開催方法について

・研修の長さについて

	人数	割合
長い（半日にしてほしい等）	4人	9%
ちょうどよい	39人	85%
短い（2日間行ってほしい等）	1人	2%
その他	2人	4%
合計	46人	100%

・研修の構成について

	人数	割合
基礎的な知識を獲得できる講義を充実してほしい	6人	13%
実践的な通報の受付場面等の講義を充実してほしい	7人	15%
実践的な事実確認場面等の講義を充実してほしい	15人	33%
実践的な虐待を判断した後の被虐待者・事業所への支援指導場面等の講義を充実してほしい	13人	28%
受講者同士のグループワーク（演習）を充実してほしい	3人	7%
特になし	2人	4%
合計	46人	100%

3. 所属の虐待防止に係る体制整備状況について

(1) 所属の障害者虐待を受付するマニュアル等の整備、関係職員への周知

	人数	割合
独自のマニュアルが作成されており、関係職員に周知されている。	10	31%
独自のマニュアルは作成されているが、担当職員しか把握していない。	6	19%
独自のマニュアルは作成されていないが、関係職員で対応が周知されている。	9	28%
独自のマニュアルは作成されておらず、担当職員しか把握していない。	3	9%
わからない	2	6%
その他（一部、必要な部分のみ作成。周知されている。）	2	6%
合計	32	100%

(2) 担当職員不在時の対応について

	人数	割合
障害者虐待防止担当職員不在の場合でも、複数名が対応できる体制にある。	14	44%
障害者虐待防止担当職員不在の場合、応対した職員が通報を受け付け、必要事項を確認して所属で判断することができる。	15	47%
障害者虐待防止担当職員不在の場合、通報を受け付けることができず、改めて連絡をすることになる。	1	3%
わからない	1	3%
その他（市の管轄下であり、直ぐに対応できる。）	1	3%
合計	32	100%

○感想・意見等（一部抜粋）

- ・どのような行為が虐待になるのかを、事例を通じて具体的に教えてほしい。
- ・当事者や施設従事者への事実確認（聴取）のコツ等が学びたい。
- ・虐待の起きた背景や再発のリスク（安全のアセスメント）を確認することが大切であることを学んだ。
- ・虐待・不適切支援が繰り返される事業所には、任意の業務改善の他、指定要件を満たしているかの確認も同時に必要であり、連携が必要。

2022年度の障害者虐待防止に係る本県の取組

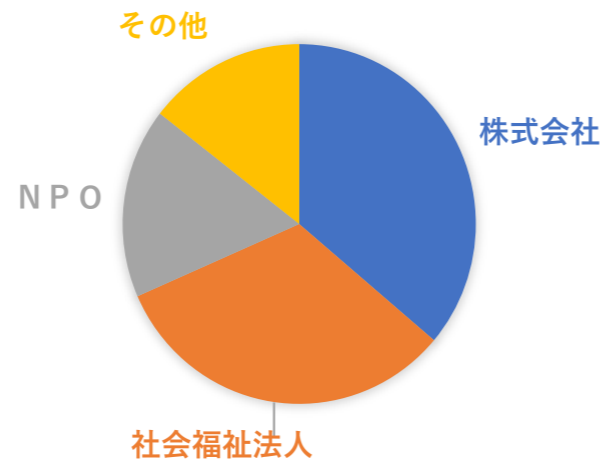
○従業員向け 受講後アンケート結果

(1) 出席者数・アンケート回収率

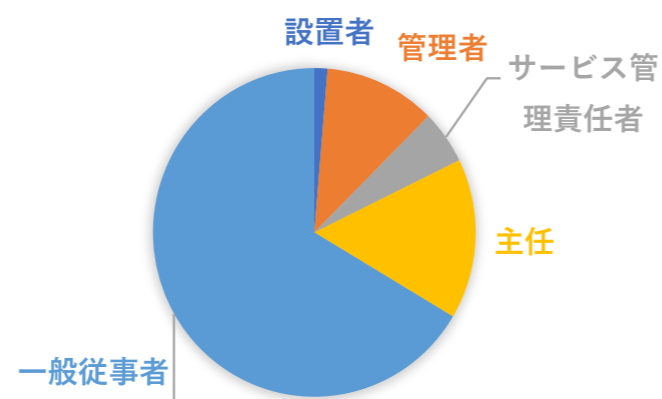
	人数	割合
出席者	152人	84%
アンケート回収	127人	84%

(2) 所属・サービス種別・役職

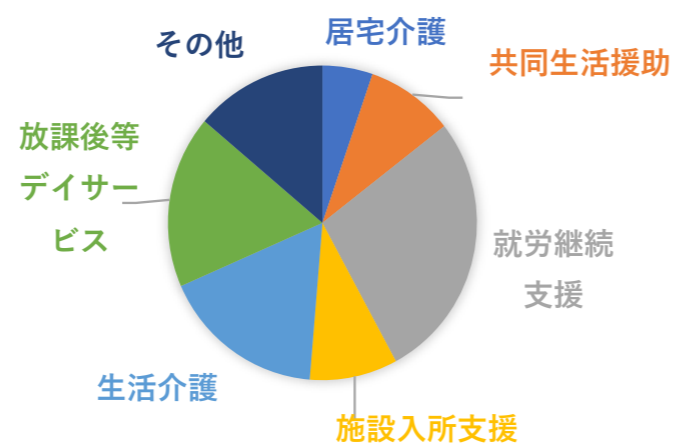
	人数	割合
株式会社	55人	36%
社会福祉法人	49人	32%
NPO	26人	17%
その他	22人	14%



	人数	割合
設置者	2人	1%
管理者	17人	11%
サービス管理責任者	8人	5%
主任	24人	16%
一般従事者	101人	66%



	人数	割合
居宅介護	8人	5%
共同生活援助	14人	9%
就労継続支援	42人	28%
施設入所支援	14人	9%
生活介護	26人	17%
放課後等デイサービス	27人	18%
その他	21人	14%



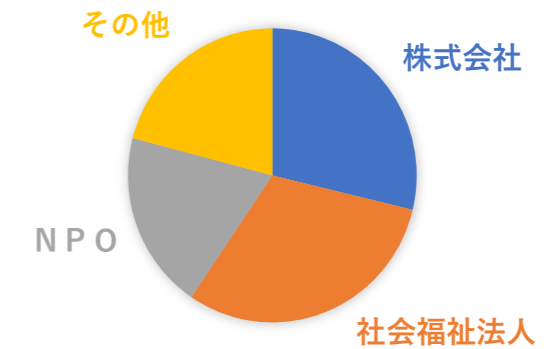
○体制整備担当者向け 受講後アンケート結果

(1) 出席者数・アンケート回収率

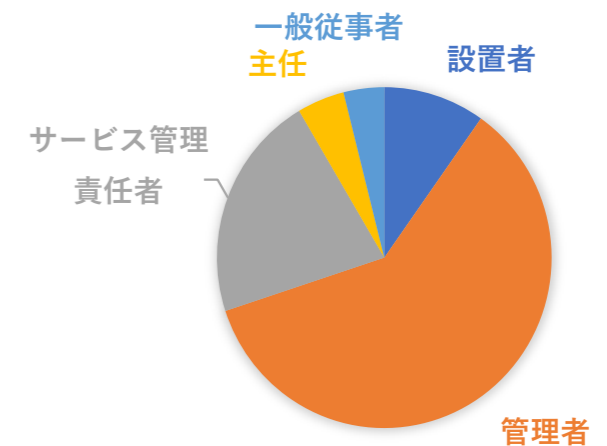
	人数	割合
出席者	153人	85%
アンケート回収	131人	86%

(2) 所属・サービス種別・役職

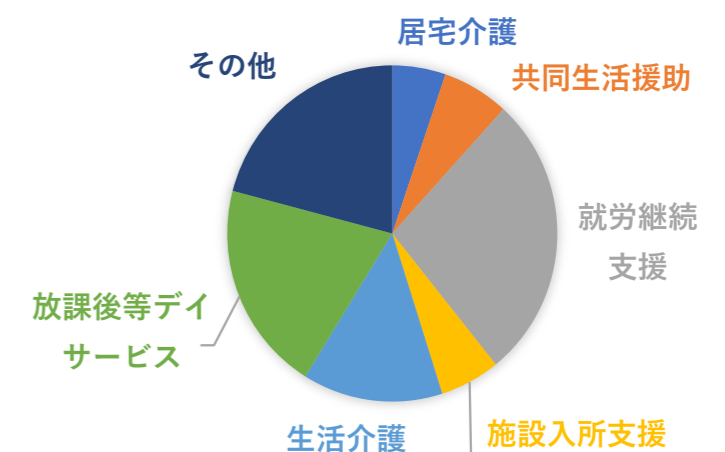
	人数	割合
株式会社	44人	29%
社会福祉法人	47人	31%
NPO	30人	20%
その他	32人	21%



	人数	割合
設置者	15人	10%
管理者	92人	60%
サービス管理責任者	33人	22%
主任	7人	5%
一般従事者	6人	4%



	人数	割合
居宅介護	8人	5%
共同生活援助	10人	7%
就労継続支援	42人	27%
施設入所支援	9人	6%
生活介護	21人	14%
放課後等デイサービス	31人	20%
その他	32人	21%



2022年度の障害者虐待防止に係る本県の取組

資料3

○感想・意見等（一部抜粋）

①本県の障害者虐待の動向等について 共通

- ・業務を優先するのではなく、利用者さんを第一に考えることが身体拘束廃止に向けた一歩となると学ぶことができました。身体拘束は虐待に当たることを念頭に置き、身体拘束をしない支援を心がけます。
- ・講義のスピードが早く、聞き取りにくかった。
- ・日々の業務を振り返りをする良い機会になりました。
- ・どのように関係機関が連携していくべきなのか、ヒントになる話が聞きたかった。

②虐待を知る～虐待防止と対応の手引きを読み解く～ 従業者向け

- ・相談業務の中での虐待防止についても知りたいと思う。
- ・深刻な虐待事案は、些細な行為、おやっと思ふ行為が放置されることによりエスカレートして重篤な虐待事案が起きるということを肝に銘じて、対応していかなければならないと、改めて痛感しました。
- ・日々の支援の中で、当たり前のように交換条件を提示していることがあると自覚しました。
- ・虐待していないと思っていても、その行為は不適切な行為に当たり、虐待であると判断されることがあるとわかりました。利用者さんにも同等の人権・権利があることを再認識しました。
- ・ご家族から意見や苦情等が言いやすい施設でありたいと思いました。通報も躊躇なくできる環境でありたいと思いました。

③虐待を「わがごと」とし、風通しのよい組織運営を目指して 従業者向け

- ・就労継続支援A型・B型事業所ですが、どの分野の職種でもあり得ることなので、より一層気を付けていかなければと思いました。
- ・「通報」ではなく「相談」という選択肢があり、その言葉が浸透することで、報告件数は上がると思う。場合によっては、「通報」という言葉が強すぎるように思う。「通報はすべての人を救う」ということを、今回の講義で学んだため、そう感じた。
- ・常勤職員、非常勤職員を問わず、事業所間、職種間でできる限り情報を共有し、コミュニケーションをとれる体制の構築が不可欠だとつくづく思いました。
- ・虐待と感じたら、まずは通報することがすべてだと思いました。

④事例から自分たちができることを考えよう 従業者向け

- ・グループワークでは、話に偏りが生じたため、ランダムなグループではなく、事業種別が同類か全くバラバラになるように配置してほしかった。
- ・職員間のコミュニケーションを増やし、利用者さんの特性や支援の困りごと等を共有し、知恵を出し合って改善していきたい。
- ・あまり意識せずに使っていた声掛けが、権利侵害に当たるかもしれないとグループワークの中で気がつきました。今後、職員同士で事例を出し合い意識を高めていきたい。

⑤意思決定支援を踏まえた成年後見制度の運用 体制整備担当者向け

- ・成年後見制度の概要や法律、地域連携ネットワークの仕組み等を理解できました。
- ・本人らしい生活を送れるように、“本人の意思を大切に”という考え方を身につけていかなければいけないと学びました。
- ・具体的な法人後見団体の活動内容を知ることができて良かった。利用者さんの「意思決定」で迷ったときに、本日の内容を思い出したい。
- ・日々の生活の中で、失敗する権利も含めて本人が選ぶということの大切さを学んだ。良かれと思って進めてしまうことも多い中、改めて利用者自身の気持ちを聞き出すことに手間と時間を惜しまないことが大事だとわかった。
- ・定期的に同様の研修を行ってほしい。

⑥よりよい虐待防止委員会の運営を目指して 体制整備担当者向け

- ・実際の運営をどうしていったらよいかを考えるきっかけになった。
- ・コロナ禍ということもあり、対面での研修会が減っているなか、対面での研修に参加して、他の参加者とも意見を交わすことができたことはとても良い刺激になりました。
- ・アンガーマネジメント体験は、楽しみながら自分を知ることができて良かったです。「6秒」を合言葉にマネジメントしていきます。
- ・虐待防止について、職員全員で話し合うことの重要性がわかった。
- ・すぐに実践できることをたくさん知ることができて良かった。
- ・職員間の共有（報告・連絡・相談）が重要だということを改めて思いました。

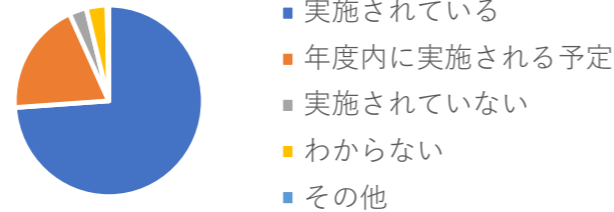
2022年度の障害者虐待防止に係る本県の取組

資料3

○従業員向け 申込者アンケート結果

(1) 障害者虐待防止に係る研修が実施されているか。(回答数337人)

実施されている	249人
年度内に実施される予定	65人
実施されていない	10人
わからない	12人
その他	1人



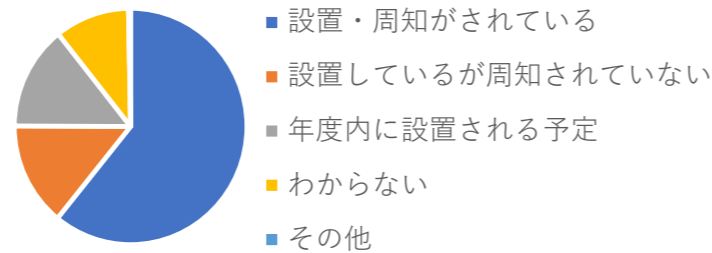
(2) 虐待の防止等のための責任者(担当者)が設置されているか。(回答数337人)

設置されている	289人
年度内に設置される予定	31人
設置されていない	4人
わからない	13人
その他	0人



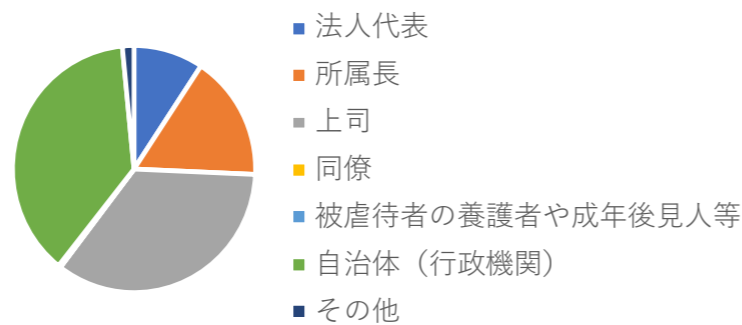
(3) 虐待防止委員会が設置され、検討結果周知されているか。(回答数337人)

設置・周知がされている	205人
設置しているが周知されていない	48人
年度内に設置される予定	48人
わからない	35人
その他	1人



(4) 障害者虐待を発見した際、具体的な通報先はどこか。(回答数323人) (最もふさわしいもの1つ)

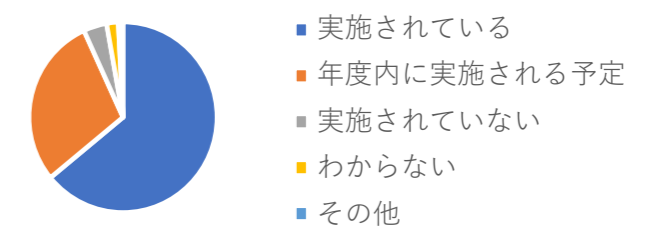
法人代表	30人
所属長	53人
上司	112人
同僚	0人
被虐待者の養護者や成年後見人等	1人
自治体(行政機関)	122人
その他	5人



○体制整備担当者向け 申込者アンケート結果

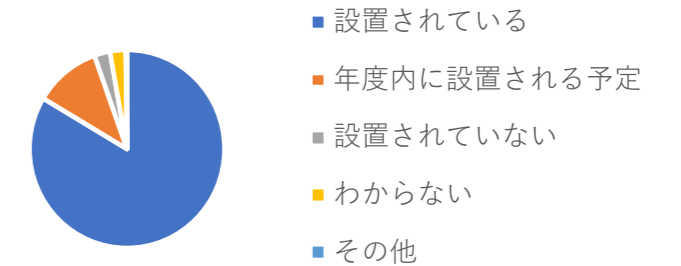
(1) 障害者虐待防止に係る研修が実施されているか。(回答数498人)

実施されている	319人
年度内に実施される予定	145人
実施されていない	20人
わからない	10人
その他	4人



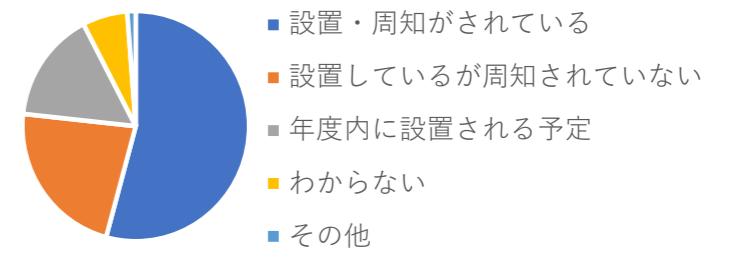
(2) 虐待の防止等のための責任者(担当者)が設置されているか。(回答数498人)

設置されている	416人
年度内に設置される予定	55人
設置されていない	13人
わからない	13人
その他	1人



(3) 虐待防止委員会が設置され、検討結果周知されているか。(回答数498人)

設置・周知がされている	270人
設置しているが周知されていない	112人
年度内に設置される予定	78人
わからない	32人
その他	6人



(4) 障害者虐待を発見した際、具体的な通報先はどこか。(回答数494人) (最もふさわしいもの1つ)

法人代表	115人
所属長	84人
上司	45人
同僚	0人
被虐待者の養護者や成年後見人等	3人
自治体(行政機関)	237人
その他	10人

